



北斗句会

令和四年五月定例会（十一日）

兼題

「花」「日」

五十音順

特は特選

石田きよし選

皆の血を吸ひし藪蚊のこけてをり

大崎石州

武者人形吾と齡を重ねけり

大森康正

侍 鷹揚に天に向ひて花水木

竹内雲泉

生垣の葉先一線夏は来ぬ

田中資凡

侍 みどりごの握る力や柿若葉

長池豆陽

侍 隧道をぬけて天城の新樹光

藤田紀潮

ハイビスカス世界の旅を思い出す

宮下ひかる

たたなづく小粉団の花風を呼ぶ

森田光彦

尾鰭まで風含ませて鯉幟

山縣秀雄



無骨なる男気放つ棕櫚の花

石田きよし